

2003. 11. 7改定

ホタテ健康壁「あわせ」 (コテ塗り用)

ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆ 0307013
国土交通省 不燃材料承認番号 NM-0396

施工マニュアル

本要領書をよく読み、
施工手順に従って施工してください

株式会社



Bloom

ブルーム

本品は改良のため予告なく仕上げ要項を変更する場合があります。

ホタテ健康壁「あわせ」コテ塗り用

I. 塗装準備

調 合

<ホタテ健康壁「あわせ」専用下塗材>

1.希 釈：

- ・ホタテ健康壁「あわせ」専用下塗材 10k g に対して、水 3.2 リットル

2.調合手順：

- ・3.2 リットルの水を練り樽に入れる。
 - ・「あわせ」専用下塗材をゆっくりと用意した水に投入する。
- ※「あわせ」専用下塗材は粉末状のため、飛散ら無い様、注意する。
- ・粉が水にじゅうぶんなじむまで置き、攪拌機で良く混ぜる。

3.注 意 点：

- ・「あわせ」専用下塗材はセメント系ポリマーモルタルです。練った「あわせ」専用下塗材は 1 時間以内で施工を行ってください。

<ホタテ健康壁「あわせ」コテ塗り用>

1.希 釈：

- ・ホタテ健康壁「あわせ」コテ塗り用 10k g に対して、水 4.3 リットル

2.調合手順：

- ・4.3 リットルの水の 9 割程度練り樽に入れ、後は残して粘度調整をする。
- ※着色する場合は、適量の着色液をこの時点で投入し、水とよく混ぜる。
- ・「あわせ」コテ塗り用をゆっくりと用意した水に投入する。
- ※「あわせ」コテ塗り用は粉末状のため、飛散ら無い様、注意する。
- ・粉が水にじゅうぶんなじむまで置き、攪拌機で良く混ぜる。
- ※多孔質であるホタテ貝殻はよく水を吸い、少し時間を置くと硬くなるので、再度攪拌しながら、残しておいた水を少しずつ入れ、粘度調整をしていく。

3.注 意 点：

- ・作業性、仕上がり状態を良くする為、海草糊が十分に溶けるまで、約 30 分は練り置きする。
 - ・「あわせ」塗り壁用は、比重の異なった材料が入っているため、必ず袋単位で攪拌施工し、分割使用は絶対行わないでください。
- ※施工後の残った材料は、密封しておけば再度攪拌して使用可能です。

II. 下地処理

新築の下地処理

1.石膏ボードの場合

- ・石膏ボードは 12mmの平ボード貼りにしてください。
 - ・石膏ボードのジョイント部分、廻り縁、枠、巾木などは隙間のないように施工すること。
 - ・廻り縁、枠、巾木のチリは、塗り厚 3mmの為、8mmは必要です。
 - ・ボード、合板などの固定は、錆の出ない亜鉛メッキ、またはステンレスビスなどを使用すること。また、ビスの頭部はボードより突出しないようにし、必ずパテをすること。
- ※鉄分がある場合、錆が出るので使用しないでください。

2.石膏ボード以外の場合（コンクリート・モルタル仕上げ・コンパネ・ベニヤなど）

- ・下地調整をする。必ずアク止めシーラーを塗布すること。
- ・コンクリート、モルタル仕上げ、コンパネ、ベニヤなどの場合は、水の吸収を均一にするためプライマーを塗布後、「あわせ」専用下塗材で表面全体を塗り、塗り残しのないようにする。

3.ジョイント処理方法

- ・「あわせ」専用下塗材を水で硬目に練りパテ材として、プラスターボード等の隙間、ジョイント部に塗りこむ。
 - ・乾燥を確認後ジョイント部の上にファイバーテープを貼る。
- ※角の隅にも直角に貼ること。
- ・全面に「あわせ」専用下塗材を塗る。
 - ・下地の状態が仕上がりに大きく影響するので、下地は不陸をなくす。
 - ・石膏ボードの表面は紙で出来ており、湿気の吸収を繰り返すことにより、壁としての強度及び密着力が弱るため、全面に塗り強度を保持してください。

リフォームの下処理

- ・ビニールクロスをはがして塗るときは、クロスをはがした後、残った紙もきれいに取り除き、プライマーを1回塗る。
- ・土壁、じゅらく壁などの場合も必ず上塗りをはがした後、中塗りの上に浸透性プライマーを1回塗ること。

共通注意事項

※既存の下地やクロスがしっかり止まっていない場合、またジョイント部分の下地が入っていない場合、鉄釘が使用されていた場合などは、それぞれ下地処理をした上で、必ずシーラー塗りを行うこと。

養生

本材は弱アルカリ性のため、廻り縁、枠、巾木など無垢の建材が変色する場合があります。塗装時これらに付着しない様、必ずマスキングテープで養生してください。また、塗装時に床、家具、電気機器等に付着しない様、養生シート、ビニールシートなどで保護してください。

推奨プライマー、シーラー：

ノボクリーンプライマー

ノボクリーンシーラー (ダイニッカ(株)：ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆製品)

Ⅲ. 仕上施工

1. 湿らしこすり (1mm)

- ・標準施工厚は 3mm ですが、最初に湿らしこすりを行う。

※塗りむらがあってもかまわない。(ボードの表面を均一に湿らせるため)

2. 仕上げ塗り (2mm)

- ・湿らしこすり後、追いかけて塗る。

3. むら直し

- ・仕上げ塗り後、水の引き具合を見てむらを直す。この時点でテクスチャ仕上げを行ってください。

※コテむらは帆立貝特有の風合いにより、多少荒目の仕上りとなります。仕上げコテでシゴキをしすぎるとテカリの原因になります。また、塗り面が出来上がってからの付け足しや、再付着は色むらの原因になります。

- ・チリ拭き、チリ押さえ(テープ養生の場合は必要なし)、廻り縁、枠、巾木などのチリを左官用チリボウキで水拭きしてください。

Ⅳ. 保 管

- ・梱包時は微粉末状であり、水分と反応します。梱包において湿気対策を施してありますが、地面に直接置かず、パレットの上などに保管してください。また、湿気の少ないところに保管すること。

Ⅴ. 使用上の注意・禁止事項

- ・ホタテ健康壁「あわせ」コテ塗り用及び、専用下塗材は 5℃以下での施工は行わないでください。
- ・無垢の羽目板、タイル貼り、吹き付け面への直接施工は絶対に行わないでください。
- ・本製品は天然素材です。作業終了後は風通しをよくし、高温多湿にならない様、十分意注意してください。
- ・本壁材は修復用壁材ではありません。躯体の構造的ひび割れ修復には使用しないでください。
- ・応急処置は製品安全データシートを参照し、医師に相談してください。